

## 窓口支援事例 【秋田県 知財総合支援窓口】 平成29年度版

### 企業情報

GOLFDIA

|           |                     |     |          |
|-----------|---------------------|-----|----------|
| 所在地       | 秋田県秋田市              |     |          |
| ホームページURL | http://golfdia.com/ |     |          |
| 設立年       | 2018年               | 業種  | 教育・学習支援業 |
| 従業員数      | 1人                  | 資本金 | —        |

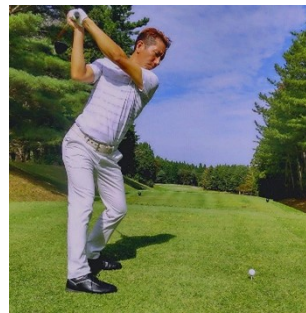
### 企業概要

オンラインを中心としたゴルフスクールです。Web会議ツールやSNSによるオンラインレッスンにて、誰からも「きれいなスイングですね」と言われる、理想的できれいな「映える」スイングを作ります。屋号の「GOLFDIA」（商標登録第6015806号）はGolf（ゴルフ）とArcadia（理想郷）から成る造語で、様々な人や事のArc（架け橋）となる願いも込めています。ゴルフを通じた地域活性化にも取り組んでいきたいと考えております。



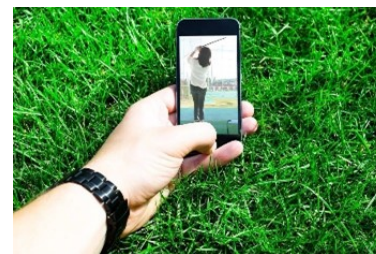
### 自社の強み

ティーチングプロによるマンツーマンレッスンで「1回のレッスンで悩みが解決する」ことを心掛けており、時間やお金を無駄にせず、迷わずに最短距離でゴルフ上達を目指せます。打ちっぱなし練習場やインドアゴルフ、ゴルフ場等への出張レッスンも提供しており、オンライン・リアル両面から、ゴルフ上達のお手伝いをいたします。当社は設立前の期間も含め、約8年間の信頼と実績があるゴルフスクールで、多くの方に喜んでいただいています。



### 一押し商品

SNSを活用したゴルフレッスンです。自宅や打ちっぱなし練習場、バンカー練習場、パター練習場、ゴルフ場等、自由に受講場所を選ぶことができます。スイング動画や質問の送信は24時間365日受付けており、レッスンの時間も9時から21時と幅広い時間帯から選べますので、忙しい方にも最適です。オンラインの良さは、場所や時間を選ばず、リーズナブルに受講できることです。



### 知財総合支援窓口活用のポイント

#### 窓口活用のきっかけ

屋内ゴルフレッスンスタジオの創業にあたり地元の商工会議所や金融機関へ相談していた当時の同スタジオ代表は、屋号やスタジオ名、事業名を商標登録した方がいいのではないかとお考えになり、当知財総合支援窓口にご相談いただきました。

#### 最初の相談概要

ちょうど「手続き上の瑕疵のある出願」がマスコミで取り上げられるようになった頃でもあり、ご相談は屋号等を商標登録して安心して事業を展開していきたいというものでした。これを受け、商標制度の概要や出願手続き、費用のご説明や、特許情報プラットフォーム「J-PlatPat」での先行出願・先行登録商標調査の支援を行いました。

#### その後の相談概要

先行出願・先行登録商標調査により、類似の可能性のある他者商標権が見つかったため、当窓口の専門家相談（弁理士）をお勧めしご活用いただきました。類否判断や権利化について同弁理士から助言を行い、結果として、新たな名称で商標登録出願をすることとなりました。また、拒絶理由通知への対応、面接審査の対応に関してや、物件提出書の作成方法、登録査定後の登録料納付の流れのご説明等をさせていただきました。

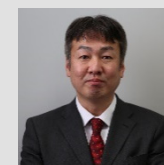
#### 窓口を活用して変わったところ

同スタジオ代表は、今回の商標相談をきっかけに知的財産の理解をさらに深められました。今後は特許や実用新案、意匠、ノウハウ管理などにも関心を持ちながら、また事業計画とブランド構築とを関連付けながら事業を展開されていくものと期待しております。

#### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

商標登録出願は素人が行うには難しく、知財総合支援窓口にご相談して本当に良かったです。商標登録まで様々なことがありましたが、一つ一つアドバイスをいただき、どうにか商標登録手続きを完了することが出来ました。商標登録でお悩みの方は是非ご相談されると良いと思います。

#### 窓口担当者から一言（氏名：小松 敏成）



同社の事業計画やブランド構築、広報戦略には、秋田県知財総合支援窓口と同フロアの秋田県よろず支援拠点やあきた産業デザイン支援センターのコーディネーター、アドバイザーとも連携し、同社の創業を支援させていただきました。屋号のご相談から創業の支援へとつながり、今後は同社が発展するような支援をしていきたいと思っております。

## 窓口支援事例 【秋田県 知財総合支援窓口】 平成29年度版

### 企業情報

GOLFDIA

|           |                     |     |          |
|-----------|---------------------|-----|----------|
| 所在地       | 秋田県秋田市              |     |          |
| ホームページURL | http://golfdia.com/ |     |          |
| 設立年       | 2018年               | 業種  | 教育・学習支援業 |
| 従業員数      | 1人                  | 資本金 | —        |

### 企業概要

雪国である秋田に「ゴルフの新しい形を提供する」をテーマに、年間を通じて快適に、そして確実にゴルフが上達する練習環境を提供するため、屋内ゴルフレッスンスタジオを立ち上げました。屋号の「GOLFDIA」（商標登録第6015806号）はGolf（ゴルフ）とArcadia（理想郷）から成る造語で、様々な人や事のArc（架け橋）となる願いも込めています。ゴルフを通じた地域活性化にも取り組んでいきたいと考えております。



### 自社の強み

当スタジオの強みは、質の高い少人数制の個別ゴルフレッスンです。コーチ1人に対して最大2人までの少人数制のセミマンツーマンレッスンとなっています。きめ細かいレッスンをご提供できるよう心掛けており、ゴルフ未経験の方や初心者、ゴルフ歴は長いけれどスコアがなかなか100を切れない方、シングルの方、上級者の方などなど、どのような腕前の方でも、ご自身のスキルに合わせてゴルフの上達を実感していただけるような練習方法をご提案します。



### 一押し商品

当スタジオの一押しは、全打席シミュレーター完備の屋内ゴルフレッスンスタジオでのレッスンです。このため季節や天候に関係なく、日焼けも気にすることなく快適に練習することができます。また効率的にゴルフが上達するよう、コースモード付きの最新ゴルフシミュレーターやゴルフ弾道測定機器、打席前後のビデオカメラ、多彩なトレーニング機材を導入しています。全打席半個室になっており、他人の目を気にせずに集中して練習することができます。



### 知財総合支援窓口活用のポイント

#### 窓口活用のきっかけ

屋内ゴルフレッスンスタジオの創業にあたり地元の商工会議所や金融機関へ相談していた当時の同スタジオ代表は、屋号やスタジオ名、事業名を商標登録した方がいいのではないかとお考えになり、当知財総合支援窓口にご相談いただきました。

#### 最初の相談概要

ちょうど「事務上の瑕疵のある出願」がマスコミで取り上げられるようになった頃でもあり、ご相談は屋号等を商標登録して安心して事業を展開していきたいというものでした。これを受け、商標制度の概要や出願手続き、費用のご説明や、特許情報プラットフォーム「J-PlatPat」での先行出願・先行登録商標調査の支援を行いました。

#### その後の相談概要

先行出願・先行登録商標調査により、類似の可能性のある他者商標権が見つかったため、当窓口の専門家相談（弁理士）をお勧めしご活用いただきました。類否判断や権利化について同弁理士から助言を行い、結果として、新たな名称で商標登録出願をすることとなりました。また、拒絶理由通知への対応、面接審査の対応に関してや、物件提出書の作成方法、登録査定後の登録料納付の流れのご説明等をさせていただきました。

#### 窓口を活用して変わったところ

同スタジオ代表は、今回の商標相談をきっかけに知的財産の理解をさらに深められました。今後は特許や実用新案、意匠、ノウハウ管理などにも関心を持ちながら、また事業計画とブランド構築とを関連付けながら事業を展開されていくものと期待しております。

#### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

商標登録出願は素人が行うには難しく、知財総合支援窓口にご相談して本当に良かったです。商標登録まで様々なことがありましたが、一つ一つアドバイスをいただき、どうにか商標登録手続きを完了することが出来ました。商標登録でお悩みの方は是非ご相談されると良いと思います。

#### 窓口担当者から一言（氏名：小松 敏成）



同社の事業計画やブランド構築、広報戦略には、秋田県知財総合支援窓口と同フロアの秋田県よろず支援拠点やあきた産業デザイン支援センターのコーディネーター、アドバイザーとも連携し、同社の創業を支援させていただきました。屋号のご相談から創業の支援へとつながり、今後は同社が発展するような支援をしていきたいと思っております。